

平成 19 年度 法科大学院（法務研究科）既修者認定試験

刑 法 問 題 紙

A 日程

平成 18 年 10 月 29 日

15 : 00 ~ 16 : 30 (90 分)

(120 点)

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、問題を開いてはいけない。
2. 刑法の問題紙は 1 ページのみである。
3. 解答用紙は、問題 1 と問題 2 の 2 枚である。解答用紙の追加は認めない。
4. 解答用紙は 2 枚ともかならず提出すること。
5. 監督者の指示に従い、すべての解答用紙に受験番号と氏名を記入すること。
6. 解答はすべて解答用紙の指定された欄に記入すること。
7. 試験終了まで退室してはいけない。

北 海 学 園 大 学

問題 1 (70 点)

Xは、Aに対し、激しい暴行を加え、そのまま放置されれば半日後に死亡するような瀕死の重傷を負わせて、その場から立ち去った。以下の各場合につき、Xの罪責を検討しなさい。

Xが立ち去った直後に、通りすがりのYがAに対し別途強力な暴行を加えたため、Aは数時間後に死亡した。

Aは、Xが立ち去った直後に救急車で病院に運び込まれたが、医療上のミスにより数時間後に死亡した。

問題 2 (50 点)

Xは強姦の目的で、顔見知りのA女を「家まで送ってやる」と自己の乗用車に乗せたが、15分ほど走ったところ繁華街の中で車が故障してしまい、やむなく「すまないがタクシーで帰って」と言ってA女を降ろした。Xの罪責を検討しなさい。